



寒さに負けず元気に登校! (2月5日・新祇園橋にて)

慧 光

金光寺寺報 第152号 発行所 金光寺 宮崎県西臼杵郡 五ヶ瀬町大字鞍岡 5927番地 0982 83-2338

今月のことば 人は法を求めると止まって法に生きることを忘れている (高光大船)

二月は、高光大船師のお言葉をいただきました。い。わが身を仏法の水の中にひたしておけばよいみずからを仏法から離してその外側において「法を求めると止まっているのではなくて、仏法の中であって「法に生きる」のではなくては本当の仏法求道ではない、と断言されているところに、鋭い、そして真剣な「求法」の姿、「聞法」の姿が示されているとうかがわれます。

仏法が生活そのものとなるべきことを、『蓮如上人御一代記聞書』には適切な譬喩によって示されています。

ある人が思っている通りをそのままに打ち明けて、「わたしの心はまるで籠に水を入れるようなもので、ご法話を聞くお座敷では、ありがたい、尊いと思うのですが、その場を離れると、たちまちもとの心に戻ってしまいます」と申しあげたところ、蓮如上人は、「その籠を水の中につけなさい。わが身を仏法の水の中にひたしておけばよいのだ」と仰せになったということです。「何ごとも信心がないから悪いのである。よき師が悪いことだといわれるのは、他でもない。信心がないことを大きな誤りだといわれるのである」とも仰せになりました。(『蓮如上人御一代記聞書(現代語版)』63頁)

日々の生活そのものが仏法の中にあることが大事で、仏法がそのまま生活となるべきことをお示しくさせています。世事に忙しく追われている現代人にとって、難しいことといわれるかもしれませんが、「後生の一大事」を心にとめる場合、まさに日々の生活に仏法がある、仏法の中に生活する、仏法そのものが生活となるということが大事なことといえるでしょう。(本願寺出版社刊「大乘」誌より転載)

金光寺よろずコーナー

百回忌法要について 今年、試みとして、百回忌(大正4年に亡くなられた方)を迎えられる物故者の氏名と命日を本堂外陣の右側に掲示しました。

例年、一周忌から3回忌・7回忌・13回忌・17回忌・25回忌・33回忌・50回忌の案内を該当のご家庭にお配りし、本堂外陣右側に掲示していましたが、本願寺から配布される手帳、仏具取扱店から送付してくる年回忌一覧表に百回忌までの記載がありましたので、その例にならってみました。

一月に本堂の掲示を見て、百回忌法要の依頼が早速ありました。該当家庭にはご案内はしていませんので、関心がおありの方は本堂の掲示をご覧ください。

下記のとおり、当山ご門徒がご往生なさいました。謹んでお悔やみ申し上げます。

Table with 2 rows of obituary information: 2014年 1月 7日 寂満95歳 大石の内 吉村ミドリ様, 2014年 1月 26日 寂満95歳 深谷寺岡秋子様

ホームページ開いています。 URL http://konkhoji.jp/ 2月5日現在 アクセス数 73,511人

雪が降りませんね。「寺報の表紙に雪景色を」と思っているのですが、例年降るような量の降雪がありません。今か今かと待っているのが首がだんだん長くなり、キリンのようにならないう余分な仕事が増えないことはうれしい限りです。しかし、除雪作業がないということは、体を動かす機会が減るということで、エネルギーを消費しないことになりそうです。今度は丸々太ってブタさんのようにならないか心配です。そんなことを思案しながら過ごす日々はこたつと仲良くなっていることが多く、「犬は喜び庭かけまわり、猫はこたつで丸くなる」という歌を思い出してしまいました。まるで猫状態の自分が心配です。「つれづれなるままに日暮しすずりに向かいながら心に移りゆくよしなしごとを」と書かれた兼好法師のようにならぬ文章が書ければいいのですが、私生活はパソコンに向かっている悪しきことしか書いていないようないやうな気がします。(住職 松井卓郎)

仏教用語豆辞典

沙羅双樹 「増鏡」に「きさらぎの中の五日は鶴の林にたき木尽きに日なれば」とあります。きさらぎは二月、中の五日は十五日、鶴の林は沙羅樹林のことで、たき木尽きに「法華経」の「仏此の夜滅度したもうこと、薪尽きて火の滅ゆるが如し」からきたものです。つまり、二月十五日はお釈迦さまが沙羅の樹林で涅槃に入られた日であるといつのです。沙羅はヒマラヤ山麓からインド全域に見られる半落葉性の高木で、白い花を咲かせます。お釈迦さまの入滅のとき、この木は季節はずれの花を咲かせ、花びらをお釈迦さまの遺体に取りそいだといひ、さらに、悲しみのあまりあたたかも白い鶴のように色が変わり首を垂れたと『大般涅槃経』はいいます。こ

こから沙羅樹林を鶴の林といいました。「沙羅双樹の花の色」(平家物語) 双樹は、二本の木とか、根は一つで幹が二本の木だとか、全部で八本あったとかと、種々の説があります。二月十五日は涅槃会です。お釈迦さまの遺徳を偲びましょう。(本願寺出版社発行 辻本敬順著 「仏教用語豆辞典」一〇〇ページから)

住職ひとりごと

雪が降りませんね。「寺報の表紙に雪景色を」と思っているのですが、例年降るような量の降雪がありません。今か今かと待っているのが首がだんだん長くなり、キリンのようにならないう余分な仕事が増えないことはうれしい限りです。しかし、除雪作業がないということは、体を動かす機会が減るということで、エネルギーを消費しないことになりそうです。今度は丸々太ってブタさんのようにならないか心配です。そんなことを思案しながら過ごす日々はこたつと仲良くなっていることが多く、「犬は喜び庭かけまわり、猫はこたつで丸くなる」という歌を思い出してしまいました。まるで猫状態の自分が心配です。「つれづれなるままに日暮しすずりに向かいながら心に移りゆくよしなしごとを」と書かれた兼好法師のようにならぬ文章が書ければいいのですが、私生活はパソコンに向かっている悪しきことしか書いていないようないやうな気がします。(住職 松井卓郎)

エイジレスライフ

二月になりました。一日から

節分の三日までは暖かい日でしたが、立春の今日四日は起床した時間よりもだんだん気温が下がっていく、それも久しぶりに寒いと思う日になりました。でも、立春以後の寒さは「余寒」というそうです。何となく春の近づきを感じさせる響きのある言葉です。早く暖かくなって欲しいものです。昨年突然咲いたフクジュソウもすっかり寒い冬を乗り越してつぼみを少しずつふくらませていきます。春はもうすぐそこです。

話は変わりますが、一月上旬だったと思います。曾我部房子さんが寺報の十一月号を欲しいといわれたので、届けたところ、次の短歌が書かれた便箋をくださいました。

村人と ふれ合いながら

レジを打つ
九十五歳 小娘のごと

跳べるかな 水溜りをば
ちよんと跳び

水はねかえる 九十七歳

西田ちほ(諸塚)

若さを感じるいい短歌ですよ。ね。

現在、御年九十八歳。三ヶ所廻り出身で諸塚村に嫁がれた方だそう。曾我部さんと親交があり、「素晴らしく、若々しい歌ですね」と曾我部さんはおっしゃいます。

この短歌を拝見して、「エイジレス・ライフ」という言葉を思い出しました。

エイジレス・ライフとは、年齢にとらわれず自らの責任と能力において自由に生き生きとし

法語の世界

〈原文〉

おなじく仰せに、なにごとをも思し召すまに御沙汰あり。聖人の御一流をも御再興候ひて、本堂・御影堂をもたてられ、御住持をも御相統ありて、大坂殿を御建立ありて御隠居候ふ。しかれば、われは「功成り名遂げて身退くは天の道なり」(老子)といふこと、それ御身のうへなるべきよし仰せられ候ふと。

(蓮如上人御一代記聞書 百六十四)

〈現代語訳〉

蓮如上人は、「わたしはどんなことも思つた通りにしてき。浄土真宗を再興し、京都山科に本堂・御影堂を建て、本願寺住職の地位も譲り、大坂に御堂を建て、隠居の身となった。『老子』に「仕事を成しとげ、名をあげた後、引退するのは天の道になつてゐる」とあるが、わたしはその通りにすることができた」と仰せになりました。

た生活を送ることをいいます。そして次のようなことを実践している六十五歳以上の方をエイジレス・ライフ実践者というそうです。

- ・過去に培った知識や経験をいかして、それを高齢期の生活で社会に還元し活躍している
- ・自らの時間を活用し、近所付きあいや仲間うちなどでの支え合い活動に積極的に貢献している
- ・中年から一念発起して、物事を成しとげた
- ・壮年期において達成した地位や体面などにとらわれることなく、高齢期を新しい価値観



- ・自らの努力、修練等により、優れた体力・気力等を維持し活躍している
- ・地域社会の中で、地域住民のリーダーやコーディネーター的な役割を發揮し、生き生きと生活している
- ・その他、広く全国に紹介することがふさわしいと認められるもの

この定義からすれば、西田千穂さんは短歌作りを通してエイジレス・ライフを実践している方だといえます。

親鸞聖人は九十歳でご往生なさいましたが、晩年まで、執筆活動を続けられ、その御著作とお念仏に生かされた生活を通して浄土真宗のみ教え、阿弥陀さまのお慈悲を私たちに示してくださいました。まさにエイジレス・ライフの先駆者といえるでしょう。

親鸞聖人のお導きをいただきながら、お念仏を中心とした日々を過ごしつつ、エイジレス・ライフを送れるまで命の縁をと思ふことです。

二〇一四年春季彼岸会法要のお知らせ

期日	三月二十一日 午前九時三十分
場所	金光寺本堂
勤行	正信念仏偈(草譜)・六首引き
講師	未定
その他	お参りの際は、式章・念珠・お経本をご持参ください。

彼岸会法要は仏教婦人会の例会になっています。仏教婦人会会員の皆様はご参詣ください。会員以外の皆様のご参詣もお待ちしております。法要終了後は、仏教婦人会の総会で

仏事お休みのお知らせ

下記の期日は、緊急(葬儀)を除き、仏事は行いません。ご協力をお願いします。

- | | | | |
|----------|-------------|--|--|
| 2月 | | | |
| 12日 | 免許更新 | | |
| 24日~25日 | 私用(大学受験) | | |
| 3月 | | | |
| 1日 | 私用(娘 高校卒業式) | | |
| 4日午後~5日 | 私用(大学受験) | | |
| 11日~12日 | 私用(大学受験) | | |
| 13日 | 宮崎出張 | | |
| 21日 | 彼岸会法要 | | |
| 25日 | 宮崎出張 | | |
| 31日~4月3日 | 私用 | | |
| 6月 | | | |
| 5日~8日 | 上洛 | | |